

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第1回 福津市学校給食委員会	
開催日時	令和5年7月18日(金) 午前・ <input checked="" type="checkbox"/> 午後 3時30分から 午前・ <input checked="" type="checkbox"/> 午後 4時10分まで	
開催場所	福津市役所 別館大ホールE	
役員名	(1) 出席 白土会長・児島副会長・寺川委員・陶山委員・ 田仲委員・肥後委員・木庭委員 (2) 欠席 荒井委員・久保委員	
事務局	城野教育部長・石津学校教育課長・岩佐保健給食係長・高嶋	
会 議	議題(内容)	(1) 学校給食用食器について(報告) (2) 福津市第2学校給食共同調理場(仮称)について
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	2名
	資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・委員名簿 ・福津市学校給食委員会規則 ・PEN樹脂食器 普及率・安全性資料 ・PEN樹脂食器 提供時イメージ写真 ・新設学校給食共同調理場の給食提供計画
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
その他の必要事項		

審 議 内 容 (発言者・発言内容・審議経過・結論等)

1. 開会行事

進行：高嶋

- (1) 挨拶 城野教育部長
- (2) 委嘱状交付 机上交付
- (3) 委員の紹介 自己紹介
- (4) 福津市学校給食委員会規則について
- (5) 会長及び副会長の選出
会長：白土 真二郎(津屋崎中学校長)
副会長：児島 由美(上西郷小学校長)
- (6) 会長挨拶

2. 議事

進行：白土会長

(1) 学校給食用食器について(報告)

(岩佐係長) 現在、強化磁器を使用しているが、かごに入れて運ぶ際に重たくなる、誤って落として破損した場合に子供のケガに繋がる可能性があるなどのデメリットがある。また、劣化により、配送中や配膳室から運ぶ際に食器が欠けることもあり、子どものケガや異物混入に繋がる。教育委員会において検討を重ね、安全性が担保できるPEN樹脂食器に変更することにした。共同調理場の受配校である津屋崎小学校及び勝浦小学校から導入し、他の学校についても順次変更する。

(白土会長) 先行して導入しているほかの自治体の状況は。

(岩佐係長) 軽くなったことにより、子どもたちが運びやすくなった。調理員の負担も減った。

(2) 福津市第2学校給食共同調理場(仮称)について

(岩佐係長) 児童生徒数の増加により、現在の学校給食共同調理場(以下「第1共同調理場」)からの提供が厳しい状況になり、津屋崎小学校の敷地内に新設の共同調理場(以下「第2共同調理場」)を建設している。令和6年4月から稼働する。

令和6年度から令和8年度まで、第1共同調理場から津屋崎中学校及び福間小学校の一学年分を提供する。令和9年度には新設の宮司小学校が開校し、福間小学校の児童数が減少するため、配送は3年間だけの予定。福間小学校の自校分と配送分でメニューが異ならないように、福間小学校長、共同調理場長、栄養教諭等関係者と協議する。

第2共同調理場では、津屋崎小学校と勝浦小学校に給食を提供し、令和9年度からは新設小学校に配送する計画である。

令和9年度以降、福間中学校の一部を第1共同調理場から配送する計画としているが、厨房設備を増設する余地があり、自校のみで提供できる可能性もあることから、福間中学校に関しては流動的と考えている。

(資料) 新設学校給食共同調理場の給食提供計画

- (白土会長) それぞれの調理場の最大提供数は。
- (岩佐係長) 第1共同調理場は今年度の児童生徒数1586人に職員を加算した1,700食程度が限界であり、無理をして作ってもらっている状況。第2共同調理場は2,000食規模。
- (陶山委員) 計画では、福間小学校分が第1共同調理場となっている。第2共同調理場は小学校分だけを作る。あえて第1共同調理場で中学校分と作る理由は。
- (陶山委員) 献立のことを考えると、中学校ではなく小学校と一緒にほうが良い。
- (石津課長) 第2共同調理場稼働開始から多くの食数を調理することについて心配している。また、第1共同調理場で津屋崎中学校分だけを作ると、550人を超えない数となり栄養教諭が配置されないという事態を避けたいという気持ちがあり、この計画となった。
- (白土会長) 第1共同調理場では、中学校と小学校で別々のメニューを作るのか、同じメニューか。
- (岩佐係長) 現在のところ、栄養教諭との協議ができていない。全く別のメニューを作ることはできないと考えるが、今後栄養教諭と協議する予定。
- (児島副会長) 検食はどうか。
- (岩佐係長) 調理場で検食をしているが、受配校になった場合は受配校での検食も必要のため、福間小学校は自校分と配送分をそれぞれ検食してもらうことになる。
- (児島副会長) 給食に何か起こった場合は、それぞれに連絡する必要があるか。福間小の栄養教諭の負担が増えるのでは。
- (岩佐係長) 現在、福間小学校と福間南小学校は栄養教諭の補助として市の栄養士を短時間勤務ではあるが配置をしている。
- (白土会長) 福間小学校で1,700食を作ることは難しいのか。
- (陶山委員) 児童1,406人に職員分を合わせた約1500食を作っている。来年のことを考えると、釜の大きさは決まっているので、メニューによっては一人分の分量を減らさないと作れない。栄養価も規定量を提供できない。保管庫も限られており、品数を減らさざるを得ないことも考えられるので、共同調理場から配送がないと厳しい状況。
- (白土会長) 令和6年度から第2共同調理場で福間小学校分を作ることはできないのか。
- (石津課長) 施設の能力的には可能だが、先に説明した通り、第1共同調理場に栄養教諭が配置されないということを避けたい。
- (白土会長) 福間中学校分を第1共同調理場で作れば良いのではないかと。
- (石津課長) 極力自校式が良いと考えているので、自校で作れる間は配送を考えていない。
- (木庭委員) 第2共同調理場が令和9年度から1700食を超える。急に食数が増えるので、対応できるだろうか。人数が増減することで、計画が狂うことも考えられるのでは。
- (城野部長) 人口推計の話になるので予測は難しいが、宮司小学校区の西福間5区について、令和10年度にピークがきて、その後減少する見込み。
- (木庭委員) 令和9～11年度に第2共同調理場に負担が偏っているが、第2共同調理場に集めたほうが良いとの考えなのか。

(石津課長) 第1共同調理場に宮司小学校をもっていくと、キャパシティーが足りないので、2000食規模の第2共同調理場にもっていかざるを得ない。

3. その他

進行：高嶋

(木庭委員) PEN樹脂食器の納品について、1月納品は確定か。

(岩佐係長) 確定ではない。少しでも早く納品できるよう、業者と調整中。

(岩佐係長) 学校給食運営について、今後も引き続き機械器具の更新や新規導入を計画的に実施していく。

閉会